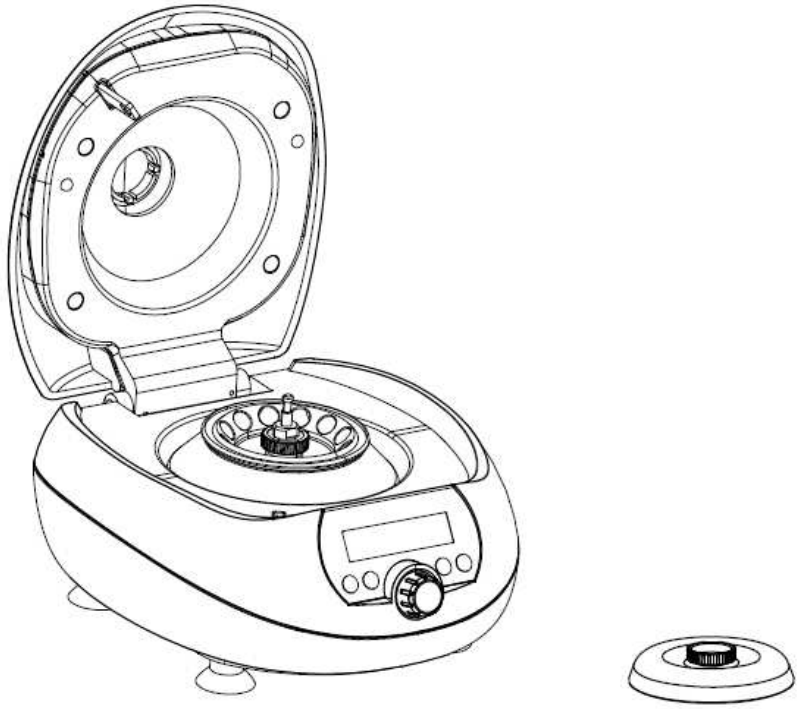
取扱説明書

中速度遠心器
BSR-Mini15K



Jan.2015

安全上のご注意

1. 安全な操作のために

この度は中速度遠心器 BSR-Mini15K をお買い上げくださりありがとうございます。
機器使用の前にこのマニュアルを必ずお読み下さい。
本機器を安全に使用するための注意事項が書かれています。
なお、機器使用前又は使用中になんらかの異常に気づいたときは、ただちに販売店にご連絡下さい。

2. 安全上のご注意

△ 機器外箱に異常がないことを確認して下さい。
△ 機器本体にキズ等の異常がないことを確認して下さい。
△ 機器は室内のみで使用して下さい。
△ 機器に異常がある場合、ご自身で修理しないで、販売店に連絡して下さい。
△ 感電防止のため必ずアースを設置して下さい。
△ 電源を入れる前に、供給される電源が機器に必要な電源と一致することを確認して下さい。
（AC100V, 50/60Hz, 1.5A, 100W）
△ 電源ケーブルに関し、以下の点に注意して下さい。
- ○ ケーブルが損傷している場合は交換すること。
- ○ ケーブルの上に物を乗せないこと。
- ○ 人が通る場所にケーブルを通さないこと。
- ○ 電源ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らずプラグを持って引き抜くこと。

△ 機器を設置するとき、以下の点に注意して下さい。
- ○ 高温多湿な場所や直射日光など強い光が当たる場所を避けること。
- ○ 腐食性のガスや強い磁気を避けること。
- ○ ストーブなどの熱源から十分な距離を置くこと。

△ メインスイッチは、機器の背面にあります。“｜”を押すと機器の電源が入り、“○”を押すと電源が切れます。
△ 作業が済んだら電源を切って下さい。長期間機器を使用しない場合、電源ケーブルを抜き、布かプラスティックシートをかけて埃を防いで下さい。
△ 以下の場合、直ちに電源ケーブルをプラグから抜き、販売店に連絡して下さい。
- ○ 機器に液体が流入した。
- ○ 発煙あるいは発火した。
- ○ 異常な音がしたり、異臭がする。
- ○ 外装が破損した。
- ○ 動作が明らかにおかしい。

3. 遠心器操作上のご注意

以下のことを必ず守って下さい。

- ○ ローターを確実に固定する。
- ○ ローターフタを確実に固定する。
- ○ 使用チューブは同一重量のものを偶数本、常に対角線上に設置する。
- ○ 高粘度のサンプル（1.2g/ml 以上）を使用しない。
- ○ 使用チューブは遠心器専用のものであり、下記仕様に表記される RCF 耐性であること。
- ○ 機器の振動に異常を感じたときは、ただちに運転を停止する。

以下のことは絶対にしないで下さい。

- × チューブをローターに設置した状態で、（水漏れの原因となる）液体の出し入れをしない。
- × 運転中に機器を動かさない。
- × ローターが完全に停止するまで機器内部に手を入れない。
- × 遠心器のそばで、有機溶媒や発火性の薬品を使用しない。
- × 発火性物質、爆発物、腐食性物質、劇毒物を遠心器に使用しない。
- × 傷のあるローターを使用しない。

特長

1. 軽く、小さく、静か、しかも強力、チューブを 12 本遠心可能
2. 遠心による発熱が小さい ： **30 分遠心後わずか 10℃**
3. すばやい始動時間と停止時間 ： 最高速度より約 15 秒で停止

仕様

Cat. No. / 項目	BSR-Mini15K
回転数	500 ～ 14,500 rpm （100rpm 単位で可変）
最大遠心加速度（PCF）	100 ～ 14,000xg （100xg 単位で可変）
表示	rpm / RCF 表示切り替え可能
設定時間	20 秒～99 分 / 連続運転（00 設定）
最高回転数到達時間	17 秒
停止時間（最高回転数より）	15 秒
寸法（幅/奥行/高さ）	230 x 270 x 155 mm
重量（ローター含む）	4.8 kg
電源 / 電力	AC100V, 50/60Hz, 1.5A / 100W
至適動作環境	周囲温度：5℃～35℃ 相対湿度：≤70%

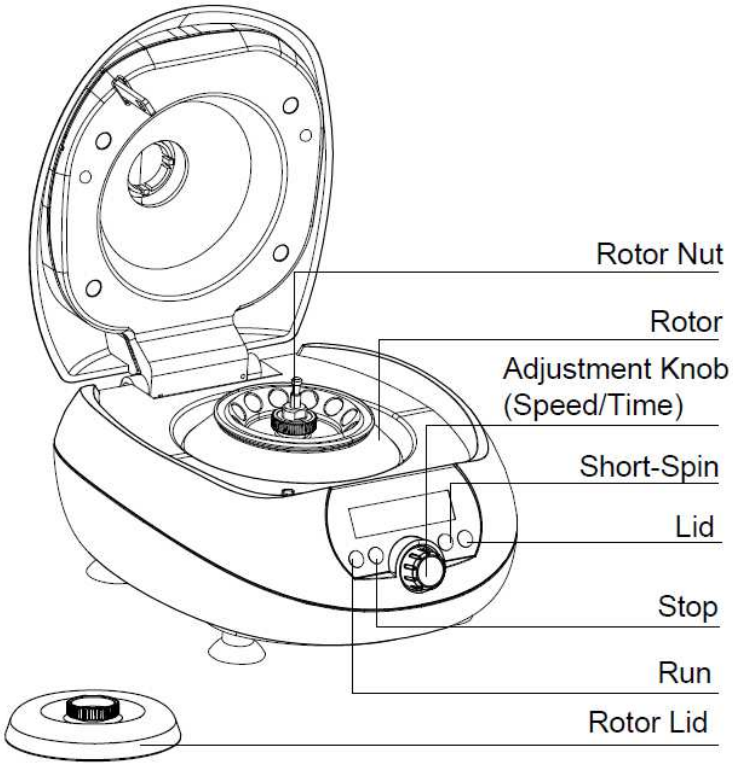
第1章　はじめに

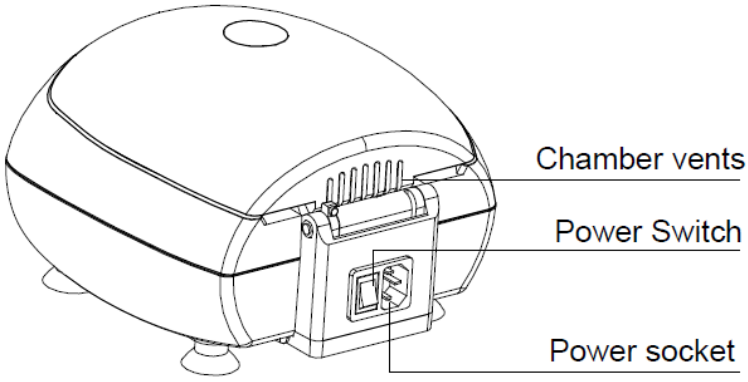
お届けした箱に、下記の製品が入っていることをご確認下さい。

本体	1 台
ローター	1 台
ローター用フタ	1 個
ローター用ナット	1 個
電源コード	1 本

0.2ml チューブ用アダプタ	12 本
0.5/0.6ml チューブ用アダプタ	12 本
操作マニュアル	1 冊

1. 各部の名称

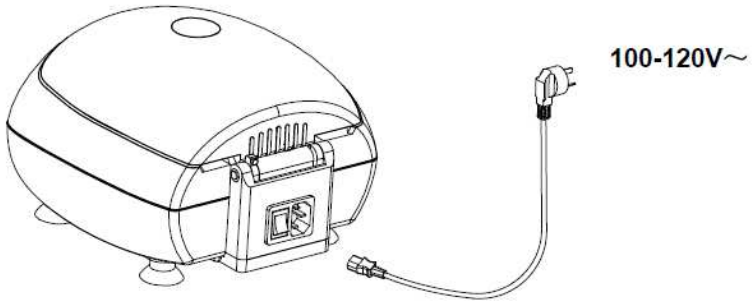




2. 各ボタンの機能

Run	機器の運転を開始します。
Stop	機器の運転を停止します。
Short Spin	ボタンを押している間だけ運転を行います。
Lid	本体のフタを開きます。
調整ノブ (Knob)	回転数（または RCF）、時間の設定値を増減します。

3. 機器の設置



a) 機器は平らで固い場所に設置して下さい。

b) 通気に配慮して、機器の周りに十分なスペースを確保して下さい。

c) 電源コネクタを使用して、機器を電源に接続して下さい。

第 2 章　操作ガイド

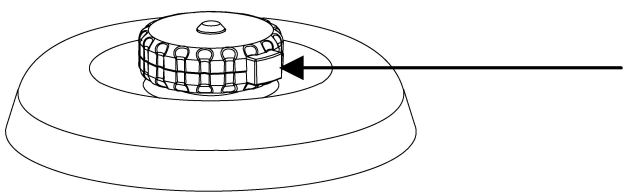
1. 準備

注意：工場出荷時にローターの保護のために入れてあるパッキンを取り外して下さい。

a) 機器背面の電源スイッチを「on」にします。

b) 「ピー」という音がして、ディスプレイに設定値が表示されます。

c) 「Lid」ボタンを押して本体フタを開け、ローター用フタを外してサンプリングチューブをセットします。



注意：チューブの設置、取扱いについては「安全上の注意：遠心器操作上のご注意」をお読み下さい。

d) ローター用フタを確実に閉めます。

e) 本体のフタを閉めます。

2. 回転数・時間の設定

a) 調整ノブを一回押します。回転数の表示が点滅しますので、調整ノブを回して数値を増減させます。

b) 調整ノブをもう一回押すと、時間表示が点滅します。調整ノブを回して数値を増減させます。
時間を「00」で設定すると、連続運転設定になります。「Stop」を押すまで連続で回転します。

c) 3 秒ほど操作をしないと、点滅がなくなり、数値が確定されます。

d) 調整ノブを 3 秒間押し続けると、回転数（rpm）表示と RCF（g）表示を切り替えられます。

3. 運転の開始 / 停止

a) 「Run」ボタンを押すと、機器は運転を開始します。設定回転数（遠心力）に達すると、カウントダウンが開始されます。

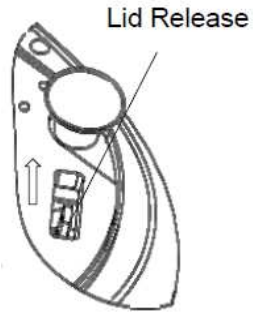
b) 設定時間が経つと、「ピー」とブザーが鳴り、運転が終了します。回転が止ると、自動的に本体のフタが解除されます。決して回転中にフタを開けないで下さい。

c) 途中で運転を停止したい場合は、「Stop」ボタンを押します。

4. ショートスピン

a) 「Short Spin」ボタンを押します。
最大回転数（遠心力）まで上昇します（設定した回転数などには左右されません）。ボタンを押している間だけ、機器は回転を続けます。

5. 停電時の本体フタの開け方



a) 機器の完全に停止していることを確認します。

b) 機器の電源を切り、電源コネクタをコンセントから外します。

c) 機器の底面にある「つまみ」を奥側にスライドさせると、本体フタのロックが解除され、フタが開きます。